opusdei.org

## 37. カイアファは誰 ですか?

ユダヤ人の歴史家のフラウィウス・ヨセフスが語るとと記した。カイアファは紀元18年ごろヴァレリオ・グラトに任命され大祭司に昇りつより解任されました。

2016/09/28

カイアファ(ヨセフ・カイファス) はイエスと同時代の大祭司でした。 これは新約聖書(マタイ26,3; 26,57;

ルカ3,2;11,49;18,13-14;ヨハネ 18,24.28;使徒言行録4,6)の中でいく 度か引用されています。ユダヤ人の 歴史家のフラウィウス・ヨセフスが 語るところによれば、カイアファは 紀元18年ごろヴァレリオ・グラトに 任命され大祭司に昇りつめ、36年 ごろヴィテロにより解任されました (『ユダヤ古代誌』18.2.2と18.4.3)。 アンナスの娘の一人と結婚していま した。また、アンナスは紀元6年か ら16年の間大祭司でした(『ユダヤ 古代誌』18.2.1と18.2.2)。その年代 記及び福音書が示すところによる と、カイアファはイエスが十字架上 での死刑を宣告された時の大祭司で す。

彼が大祭司としての長く在任したことは、カイアファがローマ帝国の行政機関及びピラトが総督の間、非常に友好的な関係を維持してきたことを意味する以上の証拠です。フラウィウス・ヨセフスの記述の中で、

ユダヤ人の宗教及び国民としてのア イデンティティーに対するピラトの 軽蔑及びピラトに対して抗議に立ち 上がった人々の具体的な声が書かれ ています。ピラトの横暴に対して抗 議した人々の中に、まさにその当時 大祭司であったカイアファの名前が 無いことは両者の間の良好な関係を はっきりと示しています。ローマ帝 国の行政官たちとのその親密で協力 的な姿勢は、イエスの裁き及び十字 架での死刑の宣告に関する福音書の 中で語られてところにも反映されて います。全ての福音書の記述は、イ エスの尋問に際して、大祭司たちが イエスをピラトに引き渡すことに合 意したということで一致します(マタ イ27,1-2;マルコ15,1;ルカ23,1;ヨハ ネ18,28)。

初期のキリスト教徒がイエスの死を どのように理解したかを知るため に、イエスの有罪判決に先立つ審議 に関して福音書で語られていること

は重要です。「彼らの一人でその年の 大祭司であったカイアファが言っ た。『あなた方は何も分かっていな い。一人の人間が民の代わりに死 に、国民全体が滅びないで済む方が あなた方に好都合だと考えないの か』。これはカイアファが自分の考 えから話したのではない。その年の 大祭司だったので予言してイエスが 国民のために死ぬ、と言ったのであ る。国民のためばかりでなく、散ら されている神の子たちを一つに集め るために死ぬ、と言ったのであるし (ヨハネ11,49-52)。

1990年、エルサレムにあるタルピオット墓地の中で12の納骨棺が見つかりました、その内の一つにはヨセフ・バル・カイアファと刻印されており、これはフラウィウス・コセフスがカイアファと判断したものです。中には西暦一世紀のもので、その容器に入っていた遺骨は福音書

の中で書かれているものと同じ人物 のものと考えられます。

参考書: Bruce CHILTON, Caiaphas en The Anchor Bible Dictionary, vol. I (Doubleday, New York, 1992) 803-806, Zvi GREENHUT, «The Caiaphas Tomb in Northern Talpiyot, Jerusalem»: Atiqot 21 (1992) 63-71.

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-37/ (2025/12/13)